

ココが巣南中学校の英語のウリ!

言語活動の導入と中間で、生徒自身で学びを進めたり深めたりする手立てがあります!

英語科研究主題

目的・場面・状況に応じて、英語でコミュニケーションすることができる生徒の育成
 ~相手意識・目的意識を明確にした言語活動を通して~

主張点①

単元を貫く「やってみよう」を引き出す課題の設定

【生徒の意識】(導入)
 私たちが中学校に入る前、どんな事を知りたかったかな。中学校では掃除のやり方が違ったり、合奏などの行事があったりするけれど、何を、どんな風に伝えたら小学生は中学校生活が楽しみになるのかな。

【生徒の意識】(終末)
 実際に中学校生活の写真を見せながら、どこで、何をしている様子なのかを話すことで、中学校の生活をよりイメージしてもらいやすい発表ができた。小学生の気持ちも考えながら、安心して中学校生活を送るためのアドバイスなども考えることができた。

単元の導入と終末における生徒の意識を描き、単元内で生徒の意識を変容させる言語活動を毎時間設定する。

主張点②

思う存分学ぶことができる「生徒に学びをゆだねる時間」

6年生が「中学校楽しみ!」と思う学校紹介のためには何を伝えるべきだろう。

3. 小学校6年生に紹介すべき内容を選び、伝える内容を考える。

○ You can choose the picture you want to use. Let's take a memo for the presentation.

<p>教科の様子に着目するAさん</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の様子が分かる写真を見せたら勉強の不安もなくなるかもしれない。授業の様子は、何を伝えるといいかな。 	<p>部活動の様子に着目するBさん</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の先輩は怖くないことを伝えるために、先輩と後輩が一緒にプレーしている様子を紹介しよう。 	<p>掃除の様子に着目するCさん</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真がたくさんあるけれど、どれを使えばいいんだろう。 宿題をしているって英語でどう言うのかな。
--	--	---

はじめの発表
 Hello. Look at this picture. This is our classroom. They are studying now.

<p>同じ写真を使っている人がどんな発表をしているのか気になるから聞きに行ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業前にみんなで復習している様子や、友達と話しながら勉強している様子は伝えられた。他に何を言えればいいだろう。 	<p>仲が良いことを表すために、先輩は優しいことも伝えたい。教科書の後ろに Word Room があつたはずだから、そこから使える表現を探してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使えるいい表現がいくつも見つかった。 	<p>写真の様子を伝えるために、みんな They are doing ○○と言っているみたいだ。自分も真似してこの写真の説明をしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 掃除の様子を "We are cleaning our room." と表現できた。
---	--	--

中間交流 同じ場面を選んだ仲間の意見を確かめよう

① 小学生が知りたいことや、不安に思っていることを話しているか
 ② 紹介するものに対する自分の考えや思いを伝えているか
 ③ 小学生が「中学校楽しみ!」と思うポイントは何か

伝えたい内容を自分で決定

生徒それぞれが、自分に合った方法で考えをまとめる

友達に話して自分の英語で伝わるか確認したり、内容を深めたりする

成果と課題

- 課題化の場面で目的・場面・状況を明らかにし、小中連携も踏まえた身近な内容にしたことで、生徒の「やってみよう!」を引き出すことができた。
- マッピングを活用して情報整理をしたことで、キーワードを活用しながら相手に合わせて発信内容や伝え方を変えることができたり、交流の中でカラーペンを使用することで、変容に気付くことができた。また、教師も変容を見届け、評価につなげることができた。
- 目標とする姿により近づけるために、生徒が深めた思考を必ず再構築する時間をつくり、順序立てて伝える力を付けさせる必要がある。

掲載資料

- ① 単元指導計画 ② 本時の展開案

【黒南中学校 CAN-DO LIST (中1 Stage2)】

身近な人物や有名人について、簡単な語句を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。

【単元目標】

代名詞や疑問詞 whose, which を用いて人やものについて説明することができる。【知識及び技能】

仲間と楽しくクイズをするために、キャラクターや有名人について、事実や自分の考えを整理しながら説明したりたずねたりすることができる。【思考力、判断力、表現力等】

仲間と楽しくクイズをするために、キャラクターや有名人について、事実や自分の考えを整理しながら説明したりたずねたりしようとしている。【学びに向かう力、人間性等】

【生徒の意識】(終末)

日本の伝統文化を支える仕事が、昔から今も変わらず残っていることに驚いた。自分の知らない情報を知ることができて楽しかったな。くず大会では、はじめは1つ目のヒントで当てられてしまったけれど、仲間のクイズからヒントをもらってヒントの順番を工夫したら、みんなが悩んでくれた。いきなり特定できる情報を言うよりも、大枠を先に伝えた方が仲間も興味をもって聞いてくれると分かった。

第8時 Unit Activity Who is this? 学校のいろんな先生【思・判・表】【態度】(本時)

ヒントを出す順番や内容を工夫して、みんながワクワクする Who is this? ゲームをつくらう。

仲間とワクワクしながら先生クイズができるように、ヒントの出し方を工夫して相手に伝えたり、さらに知りたい情報について質問したりすることができる。(SI)

【生徒の意識】(中間)

人称代名詞を使うと、"Do you know him?"などと尋ねて質問を促すことができた。今回は答えの選択肢が少なかったから簡単だったけれど、次回違う人物や場面になったとき、ヒントを出す順番や伝える情報の整理は大切そうだ。どんな風に話すか相手にワクワクしながら考えられるクイズになるだろう。

第7時 Unit Activity Who is this? 教科書のいろんなキャラクター【思・判・表】【態度】

みんながワクワクする Who is this? ゲームをつくるには、どんなヒントを出すかよいだらう。

仲間とワクワクしながら教科書の人物クイズを出し合うことができるように、人物の特徴を相手に伝えたり、さらに知りたい情報について質問したりすることができる。(SI)

第6時 Read and Think <Key Sentence 29>【知・技】

先生や仲間はどんなタイプの人なのか知るために、どんな質問をするとよいだらう。

仲間や先生の性格や好きなものを探る活動を通して、Which を用いて相手の好みを探ったり、その質問に答えたりできる。(SI)

第5時 Read and Think <Key Sentence 29>【思・判・表】

ダイアン吉日さんはどんな人物なのだろう。

インタビュー記事を読む活動を通して、ステージからは分からないダイアン吉日さんのことを理解することができる。(R)

第4時 Part2 <Key Sentence 28>【知・技】

落とし物を持ち主に返すためには、どんな風に尋ねるとよいだらう。

落とし物の持ち主を探る活動を通して、whose や人称代名詞を用いて尋ねたり、その質問に答えたりできる。(L/SI)

第3時 Part2 <Key Sentence 28>【思・判・表】

4人はどんな気持ちで会話をしているのだろう。

落語ショーに向かう4人の会話を聞き取る活動を通して、4人の気持ちや状況を理解し、音読で表現することができる。(L/S)

第2時 Part1 <Key Sentence 27>【思・判・表】

Who is this woman?

トムの発言を聞き取る活動を通して、ダイアン吉日さんについて理解し、彼女について説明することができる。(L/SP)

第1時 オリエンテーション・Preview 単元の学習の見通しをもち、目標を立てる【思・判・表】【態度】

What's this job?

日本の伝統工芸に携わる職業を当てるクイズを通して、人称代名詞の目的格の意味を考えることができる。(R/SI)

【見方・考え方】

外国語で表現し合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、再構築すること。

【生徒の意識】(導入)

なぜこの人は外国人なのに着物を着て落語をしているのだろう。彼女が落語に興味をもったきっかけを知りたいな。他にも日本の文芸に携わる外国人はいるのかな。面白い来歴の人がいたらその話も聞いてみたい。人の紹介は Unit5 でやったけれど、前回とは何が違うのかな。

【生徒の実態】

仲間と積極的にコミュニケーションをとろうとする姿があり、仲間の発言をメモしながら聞いたり、リアクションをしながら聞いたりすることができる。一方、即興で話す力に弱さがあり、相手の反応に合わせて話す内容やスピードを変えたり、会話を継続するために情報を付け加えたりすることに課題がある。そのため、Small Talkなどで会話を継続させる技能を習得する活動などを取り入れ、相手の考えや反応に合わせて即興で話す内容を考える身に付けさせる必要がある。

【単元を貫く課題】 ワクワクするクイズをつくるには、どんなヒントの出し方やフレーズを意識するとよいだらう。

英語科学習指導案

1. 単元名 Unit6 "A Rakugo Performer from the U.K" (8/8)
(NEW HORIZON English Course 1)

2. 本時のねらい
仲間とワクワクしながら先生クイズを出し合うことができるように、ヒントの出し方を工夫して相手に伝えたり、相手に対して質問したりすることができる。

3. 本時の展開

	学習活動・生徒の姿	そのための手立て									
課題化	<p>1. 帯活動</p> <p>2. 教師の例示から、本時の課題を考える。</p> <p>○ He likes dorayaki. He is a robot. He has blue skin. Who is this?</p> <p>○ Is this quiz interesting?</p> <p>・ No. 1つ目で分かってしまって面白くない。</p> <p>○ Today you will make a new quiz about teachers. What is important for an interesting quiz?</p> <p>・ ヒントの順番や情報の難易度を工夫すると面白いクイズになるかも。</p>	<p>・ 前時での活動を思い出すとともに、悪い例示を通してよいクイズを作るための視点をもてるようにする。</p>									
	<p>ヒントを出す順番や内容を工夫して、みんながワクワクする Who is this?ゲームをつくろう。</p> <p>3. クイズを作る先生を選び、どのようなヒントをつくるか考える。</p> <p>○ You can choose the teacher. You can make many quizzes.</p>	<p>・ 誰について、何個クイズを作るかは生徒にゆだね、自分ができそうだと感じる内容・量を選択して取り組めるようにする。</p>									
学びを深める時間	<table border="1"> <tr> <td>先生のプロフィールを考えるAさん</td> <td>先生の情報の様子で考えるBさん</td> <td>何を話せばいいかわからないCさん</td> </tr> <tr> <td>先生は英語を教えているから、"She teaches English."にしよう。</td> <td>先生っていつもにこにこしているな。"He smiles every day."と言おう。</td> <td>先生のことあまり知らないし何を話そう。とりあえず He is で始めよう。</td> </tr> </table> <p>最初に作ったクイズ She teaches English. She likes music.</p> <table border="1"> <tr> <td>先生の教科を話したらすぐに当てられてしまった。先生の性格や行動を話している人がいたから真似をしてみよう。</td> <td>先生の教科はすぐ分かるから入れていなかったけど、最後のダメ押しのヒントとしては使えそう。順番を工夫して取り入れてみよう。</td> <td>先生の教科を話している人が多かった。これを話すときは He is ではなく He teaches と言えばよさそう。</td> </tr> </table>	先生のプロフィールを考えるAさん	先生の情報の様子で考えるBさん	何を話せばいいかわからないCさん	先生は英語を教えているから、"She teaches English."にしよう。	先生っていつもにこにこしているな。"He smiles every day."と言おう。	先生のことあまり知らないし何を話そう。とりあえず He is で始めよう。	先生の教科を話したらすぐに当てられてしまった。先生の性格や行動を話している人がいたから真似をしてみよう。	先生の教科はすぐ分かるから入れていなかったけど、最後のダメ押しのヒントとしては使えそう。順番を工夫して取り入れてみよう。	先生の教科を話している人が多かった。これを話すときは He is ではなく He teaches と言えばよさそう。	<p>・ 前時に作成した自分のクイズ、仲間のクイズなどはタブレットでいつでも確認できるようにする。</p> <p>・ 交流の中で新たな発見があったり、考えが行き詰まったりした際には、REVIEW の時間を設け、全体に共有する。</p>
	先生のプロフィールを考えるAさん	先生の情報の様子で考えるBさん	何を話せばいいかわからないCさん								
先生は英語を教えているから、"She teaches English."にしよう。	先生っていつもにこにこしているな。"He smiles every day."と言おう。	先生のことあまり知らないし何を話そう。とりあえず He is で始めよう。									
先生の教科を話したらすぐに当てられてしまった。先生の性格や行動を話している人がいたから真似をしてみよう。	先生の教科はすぐ分かるから入れていなかったけど、最後のダメ押しのヒントとしては使えそう。順番を工夫して取り入れてみよう。	先生の教科を話している人が多かった。これを話すときは He is ではなく He teaches と言えばよさそう。									
<p>REVIEW</p> <p>① 簡単なヒント、難しいヒントの出す順番を工夫しているか</p> <p>② 周りにあまり知られていない情報などを取り入れているか</p> <table border="1"> <tr> <td>仲間が部活動の時の先生の様子を話していた。部活の顧問の先生の様子ならみんなも知らないだろうし、テーマを変えてやってみよう。</td> <td>1つ目のヒントでは誰も答えられなかったけれど、3つ目のヒントを言った瞬間に「ああ〜!」と納得してもらえた。この調子で他にもクイズを作ってみよう。</td> <td>仲間に "What is his favorite color?" と聞かれた。質問をされて、確かに好きな色は予想で入っても面白いと思ったから取り入れてみよう。</td> </tr> </table>	仲間が部活動の時の先生の様子を話していた。部活の顧問の先生の様子ならみんなも知らないだろうし、テーマを変えてやってみよう。	1つ目のヒントでは誰も答えられなかったけれど、3つ目のヒントを言った瞬間に「ああ〜!」と納得してもらえた。この調子で他にもクイズを作ってみよう。	仲間に "What is his favorite color?" と聞かれた。質問をされて、確かに好きな色は予想で入っても面白いと思ったから取り入れてみよう。	<p>・ 出題者のヒントだけでは回答が難しい場合にどんなことができるかを問かけ、相手に質問して情報を得ることもできることに気づかせる。</p>							
仲間が部活動の時の先生の様子を話していた。部活の顧問の先生の様子ならみんなも知らないだろうし、テーマを変えてやってみよう。	1つ目のヒントでは誰も答えられなかったけれど、3つ目のヒントを言った瞬間に「ああ〜!」と納得してもらえた。この調子で他にもクイズを作ってみよう。	仲間に "What is his favorite color?" と聞かれた。質問をされて、確かに好きな色は予想で入っても面白いと思ったから取り入れてみよう。									
振り返り	<p>REVIEW 後の発表 She can play sports well. She smiles every day. She maybe likes pink. She wears a pink shirt. She teaches music. Who is this?</p> <p>4. 交流での学びを生かして最初のペアとクイズを出し合う。</p> <p>5. クイズをロイロノートに書きまとめ、ペアと互いのクイズを見合う。</p> <p>6. 本時の振り返りを書く。</p> <p>はじめは先生の教科を最初のヒントにしたけれど、すぐに分かると気付いて順番を入れ替えた。Bさんは先生が使っているものの色をヒントにしていた。答えを知ったときに先生のことをさらに知ることができて面白かった。周りの人が「やって良かった」と思うクイズにするためにみんなが知らない情報をもっと伝えられるようになりたい。</p>	<p>・ 初めの提出とは別の提出箱をロイロノートに用意し、1時間の変化を視覚的に確認できるようにする。</p> <p>・ 最初のペアでもう一度クイズを出し合うことで、出題者、回答者双方がより単位時間の学びの成果を感じられるようにする。</p> <p>評価規準【思・判・表】 仲間とワクワクしながらクイズを出し合うために、情報を出す順序や内容を工夫して相手に伝えたり、情報を得るために質問をしたりしている。 (活動中のやりとり、ロイロノート)</p>									